

検診を受けられた方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 少年野球肘障害防止に対する超音波検査の有用性

[研究機関] 北海道大学病院整形外科

[研究責任者] 船越 忠直（整形外科・講師）

[研究の目的]

肘離断性骨軟骨炎（肘OCD）は少年野球障害の代表的疾患の一つである。初期には軽度の痛みがあっても一時的な投球制限で軽快することも多く、選手の症状に比べ病期が著しく進行することもあり、症状がひどくなってから病院に受診した際には既に手術が必要になることも少なくない。近年、投球障害の早期発見を目的とした野球肘検診が行われている。本研究は超音波検査の導入による野球肘検診の有用性について検討することを目的とした。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成 22 年 2 月 28 日に野球肘検診を受けた中学生野球部の選手

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見（身長、体重）検査結果（筋力、柔軟性）、超音波所見

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院整形外科 担当医師 船越 忠直

電話 011-706-5937 FAX 011-706-6054